

# 下都賀地区生涯学習研究会機関紙

記念号  
第50号



# ネットワーク

平成30年12月  
発行 下都賀地区生涯学習研究会  
事務局 下都賀教育事務所ふれあい学習課内  
TEL 0282-23-3422  
FAX 0282-23-3502  
E-mail  
shimotsuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

この度めでたく、下都賀地区生涯学習研究会機関紙「ネットワーク」第50号の発行を迎えることができました。平成16年に創刊号を発行してから15年、生涯学習についての特色ある取組や社会教育主事有資格者としての思いなど、250を超える話題を紙面にて紹介させていただきました。これもひとえに、会員の皆様の御理解と御協力によるものと、深く感謝申し上げます。

節目となる第50号を発行するにあたりまして、下都賀地区生涯学習研究会の創設に御尽力いただきました、旧都賀町教育委員会教育長 小倉 久吾 様と、日頃より栃木県の生涯学習振興に対しましてお力添えを賜っております、宇都宮大学地域創生推進機構教授 佐々木 英和 様から、会員の皆様及び本会に向けてのメッセージをいただきました。

今後も、さらに下都賀地区の生涯学習を振興し、社会教育を推進していきたいと考えております。これからも本会に対しまして御支援くださいますようお願いいたします。

## 特別寄稿

### 本会の更なる充実、発展を願って

旧都賀町教育委員会教育長 小倉 久吾

下都賀地区生涯学習研究会機関紙「ネットワーク」第50号、発刊誠におめでとうございます。

この会が創設されたのは、1983年（S63）であり、その当時、私は下都賀教育事務所勤務6年目を迎えておりました。またその年は、国立教育会館社会教育研修所主催の「生涯教育専門研修」を受講し、本地区の教育長会や社会教育課長部会等で伝達をした年でもありました。

生涯教育という用語や概念が公式に出現したのは、1965年でした。P、ラングランが、ユネスコの成人教育推進国際委員会で提唱し採択され、その後、日本においては、1981年（S57）の中央教育審議会答申において、その理念や概念が示されました。生涯教育は、生涯学習を可能にする条件づくりという意味であり、生涯学習は、性、年齢、職業など別なく、すべての人々が主体的に生涯にわたって学び続け、それらを地域に還元するという意味もあり、今までの学校教育や社会教育の在り方が見なおされ、紆余曲折をしながらも、今日に至っていると思います。

本地区には、昭和20年代に創設され、法令外負担金を資金にし、運営されていた下都賀地区社会教育振興協議会という2市8町の首長を頂点とする組織がありました。実質的には、社会教育課長部会、社会教育係長部会、社会教育主事部会、社会教育指導員部会等の7部会があり、年間をとおして、組織的、計画的な活動をしており、それぞれ成果をあげておりました。

現職の社会教育主事有資格者に対しては、下都賀教育事務所主催の研修会が年一回あり、それぞれの立場での活動状況や情報交換等が半日研修で実施され各市町主催の社会教育諸事業や学級・講座等の概況を知ることができました。

以上のような、時代背景のもと関係機関等の指導や助言を頂き、本会を創設致しました。本会の目的達成のため、有識者を招き、当初は、退職者を含めた会員相互の資質の向上や親睦をはかる研修会を実施しておりました。

今後とも本会の目的や創設の趣旨を念頭におき、前号までの機関紙「ネットワーク」から、本会の今までの活動状況等を再確認し、また栃木県教育委員会事務局生涯学習課・宇都宮大学地域連携教育研究センター（2016当時）から、提示されている「社会教育主事有資格者のための社会教育活動の手引き2016」等を活用し、各種研修会にも積極的に参加し、社会教育主事有資格者としての矜持を保って、地域の教育力を生かした教育活動と社会教育の発展に、ご尽力くださることを願っております。

本研究会の更なる充実、発展と会員各位のご活躍を祈念致しております。



